



# 電池試験対応複合サイクル腐食試験 (CCT)

設定温度に到達したら消火装置作動!! 電池の耐食性評価ができます。

## JIS、JASOなどの規格に対応した耐食性試験が可能

- 電池の大気腐食を実験室で促進する耐食性試験が実施できます

### 複合サイクル腐食試験 (CCT)

JIS H 8502, JASO M610-92, IEC 61701(Ed.2):2011等、各種試験に対応  
塩水噴霧 → 乾燥 → 湿潤等を繰り返すことにより、大気腐食を促進。  
低温サイクル(-20℃)の組込みも可能。

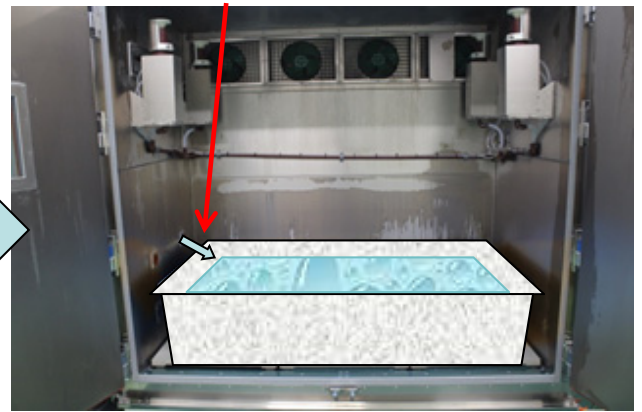
※ 塩水の噴霧、乾燥、湿潤、浸漬などの試験サイクルを、任意の順序・時間で設定することもできます。

## 当社のCCT試験の特徴

- 低温(-20℃)などの特殊条件での試験も可能です



試験体に接続した熱電対が設定温度(例:70℃)に到達すれば、消火装置作動で自動注水!!



- 電池対応CCT試験機の仕様

	千葉	知多
試験槽 (m)	W1.7 × D2 × H1.8	W2 × D1.0 × H1.8
温湿度範囲	20~70℃ 20~99%RH	-20~80℃ 25~99%RH
塩水噴霧温度	35~50℃	35~50℃
耐荷重	300kg	1000kg

- 試験槽内サイズ

